

専門ゼミ A		演習	教授 安藤 鋭也
科目カテゴリー	国際ビジネス学科の必修科目	科目ナンバリング	21300301

### 1. テーマ

会計学の理論に関する総合力の養成

### 2. ゼミのねらい・概要

会計学とは、会計主体（例えば会社や家計）の取引に係る情報を「いつ（認識）」・「いくらで（測定）」記録し、関係する人々（利害関係者）へ報告して、彼ら・彼女らが当該情報を利用して行動を決める（意思決定）という一連のプロセスを研究する学問です。

そこでは、①会計情報がどのように作成されるのか、②作成された会計情報がどのように報告され利用されるのか、③作成された会計情報の正しさはどのように保証されるのかを学ぶことが必要となります。

専門ゼミ A では、まず、①に焦点をあて、理論的な基礎を学修します。

### 3. ゼミ計画

1. ガイダンスー決算と貸借対照表を中心にー	9. 資産のバランスから見る企業の特徴
2. そもそも決算とは？	10. 負債の特徴
3. 決算書は主に3種類	11. 純資産の特徴
4. 企業グループの決算書（連結決算）	12. 貸借対照表の全体像について
5. 貸借対照表の仕組み	13. 貸借対照表と M&A（企業買収など）
6. 流動・固定（非流動）という分類	14. 不良債権と減損処理
7. 流動資産の特徴	15. 貸借対照表の限界
8. 固定資産の特徴	

### 4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

毎回、事前にプリントを配布しますので、理解するよう努めて下さい（知識のインプットの準備段階：30分から1時間程度）。その上で、丁寧に解説をします（知識のインプット段階）、知識の定着を心がけて下さい（知識のアウトプット段階：1時間半程度）。

もし不明点や疑問点があれば、どんな些細なことでも構いませんので遠慮なく質問して下さい。一緒に考えましょう。

### 5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

試験においては、解答の解説に加えて、解答に至るプロセスおよび考え方を丁寧に説明します。

### 6. ゼミにおける学修の到達目標

現代の会計基準や会計制度が、企業活動にどのような影響を及ぼしているかを理解することが到達目標です。

加えて、日商簿記2級合格、さらに進むことが可能な方には、税理士試験科目（簿記論、財務諸表論）にチャレンジできる基礎学力を身に付けるためのサポートをします。

### 7. 成績評価の方法・基準

原則として、平常点 50%（授業への取組み姿勢など）、定期試験の結果 50%で成績評価を行います。

### 8. テキスト・参考文献

テキストは、木村直人『これならわかる決算書 2024年版』中央経済社を使用します。参考文献は適宜紹介します。

### 9. 受講上の留意事項

本ゼミでは、「会計を通じて社会を理解し課題を形成する能力」と「ゼミに対する取り組み姿勢」を重視します。「今まであまり勉強してこなかったが、これからは気合を入れて頑張りたい」という前向きかつ主体的・積極的に取り組む方々と一緒に汗を流したいと思います。

また将来、会計を含む様々な分野の専門家として活躍する際のベースとなる会計の知識（会計リテラシー）を身に付けてもらいたいと思います。

**10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無**

該当します。本授業は、総合商社における経理パーソンとしての実務経験および屋外作業機器メーカーにおける社外監査役としての実務経験も活かして指導します。

**11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連**

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおりです。